

「ごみ減量化に向けて」アンケート

平成28年度

ご家族で主にごみを出されている方がご記入ください。
該当するものの番号に○を付けてください。

調査票への回答者についてお答えください。(1つに○)

Q 1. 回答者

- 1 世帯主 2 世帯主の配偶者 3 世帯主の子 4 その他 ()

Q 2. 性別

- 1 男性 2 女性

Q 3. 年齢

- 1 20歳未満 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳代以上

Q 4. 住所(町名まで)

生駒市 ()

Q 5. 何人世帯ですか。

回答者ご本人を含めて () 人

現状の燃えるごみの出し方についてお答えください。(1つに○)

Q 6. 主に何リットルの指定袋を使っていますか。

- 1 7ℓ 2 15ℓ 3 30ℓ 4 45ℓ

Q 7. 一週間(燃えるごみの収集2回)で指定袋を何袋出しますか。

- 1 1袋 2 2袋 3 3袋 4 4袋以上 (袋/週)
5 毎週は出さない。(袋/ 2・3・4 週)

Q 8. 有料化が始まってから、燃えるごみの量は減りましたか。

- 1 減った。 2 変わらない。 3 増えた。

「減った」と答えた方は、

- ・特に減ったごみの「種類」と「取り組んだ内容」は何ですか。

	種 類	取り組んだ内容
重量(重さ)で 減ったもの	【記入例】 生ごみ	生ごみ処理器を使った。

容積(かさ)で減ったもの	【記入例】 プラスチック製容器包装	分別して資源ごみとして出している。

Q 9. プラスチック製容器包装 (※) を分別して資源ごみとして出していますか。

1 はい 2 いいえ

「いいえ」と答えた方は、

・分別しない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1 面倒だから


2 資源ごみの集積所が遠い。

3 分別の仕方がよくわからない。

4 プラスチック製容器包装を分別することを知らなかった。

5 分別する必要があると思うから

6 その他 ()

(※) プラスチック製容器包装とは、商品が入っている「容器」、商品を包んでいる「包装」でプラスチック製のもの、基本的には  「プラマーク」が付いているものです。

Q10. ミックスペーパー (※) を燃えるごみの日や集団資源回収に資源ごみとして分別して出していますか。

1 はい 2 いいえ

「いいえ」と答えた方は、

・分別しない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1 面倒だから

2 分別の仕方がよくわからない。

3 ミックスペーパーを分別することを知らなかった。

4 分別する必要があると思うから

5 その他 ()

(※) ミックスペーパーとは、新聞紙・雑誌・段ボール・牛乳パック以外の、紙箱・紙袋・パンフレット・封筒などほとんどの紙のことです。(汚れた紙、臭いの強い紙は除く)

環境・ごみ問題への関心や、ごみ減量・リサイクル活動等についてお答えください。

Q11. 環境・ごみ問題に関心はありますか。(1つに○)

- 1 大いに関心がある。
- 2 少し関心がある。
- 3 あまり関心がない。
- 4 まったく関心がない。

Q12. 環境・ごみ問題についての情報・知識を得る方法として、やっていることがあればお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- 1 環境・ごみ問題に関する新聞記事やテレビ番組を見る。
- 2 市の広報紙やリーフレットなどを見る。
- 3 環境・ごみ問題に関する講演会やイベントなどに参加したことがある。
- 4 ごみ・リサイクル施設の見学に参加したことがある。
- 5 その他()
- 6 何もやっていない。

Q13. 生駒市では、循環型社会、低炭素社会の構築により持続可能な社会を実現するために、平成23年度から32年度までの10年間でごみの焼却量を半減させるという「ごみ半減プラン」を平成23年5月に策定しました。あなたは「ごみ半減プラン」を知っていますか。(1つに○)

- 1 内容までよく知っている。
- 2 内容を少し知っている。
- 3 名前は聞いたことがある。
- 4 まったく知らない。

Q14-1. 生ごみ処理器を持っていますか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 今は持っていないが今後使いたい。

「はい」と答えた方は、

どの生ごみ処理器を持っていますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 機械式
- 2 コンポスト
- 3 ボカシ
- 4 キューロ
- 5 その他()

Q14-2. お持ちの生ごみ処理器を現在どの程度使用されていますか。(1つに○)

- 1 毎日
- 2 週2回
- 3 週1回
- 4 その他()
- 5 使用していない。

Q16. 家庭系ごみの減量・資源化を進めるにあたって、生駒市が「ごみ半減プラン」で重点施策としている施策について、それぞれ、どの程度効果的と思いますか。
 (それぞれ当てはまるもの1つに○)
 (プラスチック製容器包装の分別収集、紙ごみの分別収集、家庭系ごみ処理の有料化など、一部すでに実施している施策もあります。)

		非常に効果 的と思う	やや効果 的と思う	効果的と 思わない	あまり 効果的と 思わない	どちらとも 言えない
1	“もったいない運動”を展開し、ごみを出す人の意識を変え、発生抑制を促す。	1	2	3	4	5
2	プラスチック製容器包装の分別収集	1	2	3	4	5
3	集団資源回収の活性化、紙ごみの分別収集など、紙類の資源化に取り組む。	1	2	3	4	5
4	家庭系ごみ処理の有料化	1	2	3	4	5
5	市が生ごみの資源化に取り組む。	1	2	3	4	5
6	市が剪定枝等の資源化に取り組む。	1	2	3	4	5

Q17. 今後、どのようなことが変われば、あなたのご家庭の燃えるごみの量は現在より減ると思いますか。あてはまるものを選んでください。(あてはまるもの全てに○)

- 1 指定ごみ袋を今よりも高くする。
- 2 資源ごみ集積所の数を増やす。
- 3 市がミックスペーパー分別専用の袋やシールなどを作り、全家庭に配布する。
- 4 その他 ()

Q18. 生ごみだけを分別すると、びん・缶などと同じように「資源ごみ」として指定袋以外で出せるようになった場合、あなたは生ごみを分別して出そうと思いますか。(出す場所は「燃えるごみ」の集積所とします。)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 その他(出す場所・季節などによる場合は、具体的にご記入ください。)

Q19. 家庭や地域及び生駒市のごみ減量の取組について、あなたの意見や提案など
をご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

この用紙を同封の返信用封筒に入れ（切手不要）、9月30日（金）までに投函
していただきますようお願いいたします。